



つくばセントラル病院

＼ 病院の概要 /

開設	1988年12月
開設者	社会医療法人 若竹会
院長名	金子 剛
病床数	313床
標榜科 (22科)	内科、外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、心療内科、脳神経内科、脳神経外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、歯科、歯科口腔外科、眼科、精神科、皮膚科、麻酔科、放射線科、腫瘍放射線科、リハビリテーション科
医師数	84人
指導医数	37人
研修医数	8人
研修医の主な 出身大学	筑波大学、東京医科大学、新潟大学、金沢大学、東北大学、富山大学、東京科学大学、東京大学、順天堂大学、熊本大学、秋田大学
外来患者数	318.9人／日
入院患者数	278.9人／日
時間外・休日労働時間 上限の適用水準	A水準（2025年4月現在）

＼ 募集要項 /

応募資格	2026年3月国家試験合格見込者及び取得者
採用人数	7名（予定）
試験日程	2025年8月ごろから
選考方法	面接、小論文、小テスト
処遇	■身分：正職員 ■給与：1年次41万円 2年次48万5,000円 時間外勤務手当は別途支給、その他諸手当あり ■社会保険：健康・厚生年金・雇用・労災 ■宿舎：有り ■その他：住宅手当／無

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日・土）
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：総務課 高野
TEL：029-872-1771
FAX：029-874-4763
E-mail：masaki.takano@central.or.jp

女性医師支援

- ・24時間対応託児所あり
- ・短時間正社員制度あり
- ・医師84人中28人が女性医師
- ・病児保育体制有



＼ 応募・問合せ先 /

つくばセントラル病院

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1589-3
担当者：総務課 高野 匡規
TEL：029-872-1771
FAX：029-874-4763
E-mail：masaki.takano@central.or.jp
URL：https://www.central.or.jp



- JR常磐線牛久駅下車 バスで10分
牛久駅東口より企業バスを運行
- 圏央道つくば牛久ICより車で15分

研修プログラムの特色

1. 医療機能評価認定病院、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、県南透析医療の拠点病院、総合リハビリテーションセンター等の病院機能の特徴を活かし、始祖的な臨床能力を習得する。
2. 選択研修として希望診療科のローテートが可能。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			外科	選択必修	小児科
2年次	小児科	選択必修	産婦人科	地域	精神科		選択					

※各研修医の研修計画によって診療科の順序は異なります。また、選択必修は、外科・麻酔科・小児科（院外）・産婦人科・精神科（院外）から選択
※院外：宮本病院（精神）
筑波メディカルセンター病院（小児科・救急科）
筑波大学附属病院（全科）

専門研修の募集について

後期研修プログラムは提供しておりませんが、適切な進路指導をいたします。

研修・認定施設一覧

- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本循環器学会研修関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本腎臓学会認定教育施設
- ・日本透析医学会認定施設
- ・日本アフェシス学会認定施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本脳神経外科学会連携施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本眼科学会一般研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本口腔外科学会 認定准研修施設
- ・日本口腔ケア学会 口腔ケアチーム認定施設
- ・日本顎関節学会研修施設
- ・日本有病者歯科医療学会認定歯科診療施設
- ・日本口腔科学会研修施設
- ・日本口腔診断学会研修施設

病院からメッセージ



理事長
金子 洋子

2年間の臨床研修は、医師としての骨格を作る重要な期間です。当院では、研修医の皆さんが患者様の視点を第一に置き、共に最適な医療を提供することをめざしています。総合的な診療活動を通して、幅広い医療スキルを修得できるようサポートします。上級医による密接な指導により確かな力をつけられるよう取り組んでいます。創業以来、「一人の人を大切にする医療」を実践する当院は、地域密着で、急性期、プライマリケア、そして専門的治療まで、幅広い高品質な医療の提供に努めています。救急医療、高精度放射線治療、透析医療、周産期、緩和ケア、リハビリテーション、在宅医療などの特色に加え、医療と介護がシームレスに連携する環境の中で、実践的な臨床研修を通して、皆さんの医師としての成長を全力で支援します。



研修医（2年目）
Y・M

当院は県南の中規模研修病院であり、診療科も多くはございませんが、その分、半年も経てば医師ほぼ全員の顔と名前が一致するほど他の研修医/上級医との距離が近く、相談がしやすい環境だと感じています。首都圏へのアクセスが良いのも魅力のひとつです。また、地域枠の医学生には、医師不足地域の病院として義務年限を消化できる点も大きなメリットではないでしょうか。小児科、救急科、精神科は協力病院での研修となっています。近年、研修医数は着実に増加傾向にあります（1年目3人、2年目5人）。研修プログラムも拡充の最中であり、一人ひとりが自分の興味や目標に合わせた研修プランを組み立てやすい環境です。個人的には、各科の先生方のバックアップがありつつも、「とりあえずやってみな」という教育姿勢はとてもありがたいと感じています。院内には新しい風が吹いており、研修スタイルも柔軟に変化しておりますので、ぜひ一度見学にいらしてください。